

やさい週間情報(第40号)

平成30年 1月19日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	3,500~3,400	3,500~3,400	-	1本売り (2L・L) 398~298円	北海道、本県産のともに入荷量はそれほど多くなく、流通在庫も幾分整理されている。引き続き入荷比率の低いM級以下については引合いがあり、太物については多少動きがでているものの依然として荷動きは鈍く、総じて保合での販売となっている。また量販店では各等級の価格差がないことから比較的入荷の安定しているAB品を中心にパックする動きもあり、C品の荷動きはやや鈍化しつつある。 秋冬野菜の入荷も品目によっては回復傾向にあり、徐々に量販店での売り込みも活発になることが見込まれる為、ながいもについても、都内量販店で販促活動を促し、売り場の確保および荷動きの良化に努める。
		A3L	3,500~3,400	3,500~3,400			
		A2L	3,600~	3,600~			
		A L	3,600~	3,600~			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,300~	3,300~			
		B3L	3,300~	3,300~			
		B2L	3,500~3,400	3,500~3,400			
		B L	3,500~3,400	3,500~3,400			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,000~2,800	3,000~2,800			
		C L	2,800~2,600	2,800~2,600			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	3,500~	3,500~	-	1本売り 398~298円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 不安定な入荷から果菜・根菜類の高値基調が続く中、安定した入荷が見込まれるながいもの売場は確保されており、厳寒期で末端消費の減退時期であるものの、安定した販売となっている。 果菜・根菜類については、週後半は品目によっては下げ基調で推移したものの、来週の気温が低い予想から大きな下げにはならない見込みのうえ、輸出対応から入荷の多かった太物比率が徐々に低くなる予想から、来週以降も概ね保合での販売となる見通し。
		A3L	3,500~	3,500~			
		A2L	3,500~	3,500~			
		A L	3,500~	3,500~			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,300~	3,300~			
		B3L	3,300~	3,300~			
		B2L	3,300~	3,300~			
		B L	3,300~	3,300~			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,000~	3,000~			
		C L	2,800~	2,800~			

品名 なが い も No. 2

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A 4 L A 3 L A 2 L A L B 4 L B 3 L B 2 L B L C 2 L C L	3,500~3,300 3,500~3,300 3,600~3,500 3,600~3,500 3,300~3,000 3,300~3,000 3,300~3,200 3,300~3,200 3,000~2,800 2,600~2,500	3,500~3,300 3,500~3,300 3,600~3,500 3,600~3,500 3,300~3,000 3,300~3,000 3,300~3,200 3,300~3,200 3,000~2,800 2,600~2,500		カット 78~58円/100g 2L~L1P 298円/本	北海道産および本県産の販売。 平成29年産の販売が開始してから、発生率が低く、1本売りとなる2L・Lの引合いが強かったものの、末端売価が定着してきたことと、特売等の企画が活発であることから、カット売りとなる4L・3Lの荷動きが良化してきている。また、量販店のながいもの売場スペースは厳寒期であるにもかかわらず広く確保されている。 来週についても、北海道産・本県産とも入荷量は少ないため、価格は保合推移となる見込み。
九州	本県産	A 4 L A 3 L A 2 L A L B 4 L B 3 L B 2 L B L C 2 L	3,600~3,500 3,600~3,500 3,500~3,300 3,300~3,200 3,500~3,300 3,500~3,300 3,300~3,200 3,200~3,000 3,000~2,800	3,600~3,500 3,600~3,500 3,500~3,300 3,300~3,200 3,500~3,300 3,500~3,300 3,300~3,200 3,200~3,000 3,000~2,800		カット 100g 78~58円	本県産および北海道産の入荷量は、大きな増減はないものの、寒波による寒い日が多く、また、やさい全般の売価高の影響もあって荷動きは鈍く、価格は下げ基調で推移している。 現在、太物の価格を徐々に下げるとともに、来週から消費宣伝を実施し売価の下げを図り、消費減退期で狭まっている売場の拡張につなげていく。
東北	本県産 北海道産	A 4 L A 3 L A 2 L A L B 4 L B 3 L B 2 L B L C 2 L C L	3,500~3,400 3,500~3,400 3,500~3,400 3,800~3,500 3,200~3,000 3,200~3,000 3,300~3,200 3,300~ 3,000~2,800 2,500~	3,500~3,400 3,500~3,400 3,500~ 3,800~3,500 3,200~3,000 3,200~3,000 3,300~3,200 3,300~ 3,000~2,800 2,500~	なし	1本売り 398~350円 カット 100g 84~78円	本県産中心の販売。 年明けより、本県産の入荷量は変わっていない中、量販店の売価も変わらず、特売等の大きな動きも少ないことから市況は、保合推移。 来週についても、入荷量は極端な増量とはならず市況は横ばい推移となる見通し。

品名 にんにく No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,300~2,200 1,800~1,700 1,600~1,500	2,300~2,200 1,800~1,700 1,600~1,500	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	引き続き入荷量が少なく、荷動きはまずまずで相場については保合での推移となっている。引き続き 2 L 級については出回り量の少なさから引合いが強い反面、M 級については荷動きが鈍く、総じて保合での相場展開となっている。 徐々に流通量の増加が見込まれる中、実出荷量がそれほど多くはなくスムーズな販売となっているものの、今後は出荷量次第では価格の下げが想定される。そのため産地状況の情報共有を図り、状況にあわせた価格設定を行いながら売場の拡張や荷動きの良化に努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~ 2,000~ 1,800~ 2,200~ 1,700~ 1,600~	2,200~ 2,000~ 1,800~ 2,200~ 1,700~ 1,600~		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 管内への入荷量は大きくは変わっていないものの、価格が高騰している品目が多く、末端消費が鈍化傾向にあるため、流通在庫も徐々に増えており、弱含みでの販売となっている。 氷温・CA 庫への入庫が開始されているものの、徐々に流通量の増加も予想されることから、全般に弱含みでの販売が見込まれる。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,300 2,200~1,800 1,800~1,600	2,500~2,300 2,200~1,800 1,800~1,600		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 今週は入荷量が増えたため、品薄感は徐々に解消されてきているが、引続き、堅調な販売で推移した。また、他階級に比べて M 級の在庫量は年末年始の分も含めて多いものの、市場出荷量が増えるとの見通しがあるため、末端売価を幾分下げて販売する動きが出てきている。 今後については、増量の程度にもよるが、品薄感が完全に解消されるまでは保合での販売となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,000~1,800 1,700~1,500	2,400~2,200 2,000~1,800 1,700~1,500			ガス冷および氷温庫への入庫が開始されたが、入荷量にさほど変化はなく、青果物全般の高値からにんにくも荷動きが鈍くなりつつあり、価格は L 級を中心に弱めの販売で推移している。 来週からながいもの消費宣伝を実施することから、にんにくの企画も提案しながら柔軟な価格対応によって、流通在庫が多くならないように努める。

品名 にんにく No.2

東北	本県産	A 2 L A L A M	2,300~ 2,000~1,800 1,600~	2,300~ 2,000~1,800 1,600~	なし	L 1 P 198円	今週は、本県産の入荷が徐々に増加となったことから、市況は弱含みで推移した。依然として、M級に関しては発生率が高く、市場・仲卸在庫が残っている状況。 来週については、本県産の出荷量が増加となることから、全体的に市況は弱含み推移の見込み。
----	-----	---------------------	---------------------------------	---------------------------------	----	---------------	--

品名 ごぼう No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 茨城県産	本県産 (10K) A 2 L A L A M (4K) A 2 L A L A M	1,500~1,400 1,800~ 2,000~ 500~ 800~ 900~	1,500~1,400 1,800~ 2,000~ 500~ 800~ 900~		L 1 本 168~198円	本県産中心に茨城県産の販売となっている。 12月上旬以降、入荷が少ない状況が続いており、全体的に相場は保合の推移となっている。3L、2L級についてはこれまで同様、加工業務関係からの引合いは弱い。L、M級については量販店向けの引合いがあるなか、比較的入荷量も少なく、やや不足感もでてきている。 今後の入荷量次第ではあるが、少ない状況が続けばL、M級については底上げしての販売が見込まれる。多くなる場合は一転下げの展開もなりうることから、状況を見極めながら柔軟な価格設定を行い、売り場確保、荷動きの良化に努める。
名古屋	本県産 九州産	A M A 2 M A S A 2 S	2,000~1,800 2,500 1,800~1,600 1,300~1,200	2,000~1,800 2,500 1,800~1,600 1,300~1,200		2 M 2 本入 198~158円	本県産・九州産（新ごぼう）中心の販売となっている。 量販店の定番の2Mについては、末端の荷動きも順調なことから保合での販売となっている。一方で、S・2Sについては弱含みでの販売となっている。 来週についても、入荷量は大きくは変わらない見込みから、2Mを中心に保合での販売が見込まれる。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 関東産 九州産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	1,200~1,000 1,500~1,200 2,200~2,000 2,300~2,200 2,600~2,500 1,800~ 1,500~	1,200~1,000 1,500~1,200 2,200~2,000 2,300~2,200 2,600~2,500 1,800~ 1,500~		2 M ハーフ 158~138 円 / P S 2 P 198 円 / P	<p>本県産・関東産と九州産（新ごぼう）の販売。 太物の荷動きは鈍いものの、学校給食の開始により 2 L に関しては回復傾向となっている。また、量販店向けについては、気温低下に伴い需要が高まっており、引合いは強い。なお、入荷量が少ないため、売込みをかける商談となっておらず、末端売価が高いことから、今後、需要が落ち着いていく懸念がある。 来週についても、量販店向けの M・2 M を中心に引合いは強いと想定され、全体的には保合推移となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L A M	1,700~1,500 2,300~2,100 2,600~2,400	1,700~1,500 2,300~2,100 2,600~2,400		2 P 198 円 ~ 158 円	<p>本県産および九州各産地からの入荷量は多くはないが、やさい全般に売価高の品目が多い中、鍋物の食材も高騰しており、量販店からの発注より、業務・加工筋からの発注が多い。 現在、12月に価格を上げた分、今月に入って全般的に弱めの販売となっはいるが、週間の入荷数量に大きな増減はなく、L・M・2 M 級の価格は保たれる見込み。</p>
東北	本県産	4 k g A 3 L A 2 L A L A M	400~ 600~500 700~ 1,000~900	400~ 600~500 700~ 900~800			<p>本県産中心に一部九州産の洗いごぼうの販売。 年明けから、本県産入荷量は変わらず、少ない状況が続いている。入荷量が少ない中ではあるが、末端の荷動きは、やや鈍めで推移していることから、市況は保合推移となっている。 来週についても、入荷量の増加は無いことから、市況は保合推移の見込み。</p>